

かめっ子だより No.191

令和8年2月10日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

亀池の修繕工事！ そこから出てきたものとは…！？

保護者の皆様、東門入ってすぐのところに“亀池”があるのをご存知でしょうか？ 亀井小学校には欠かせない亀(?)が4匹、暮らしております。最近、亀池の水の減り具合が非常に激しく、どうやら漏れている様子。そこで、校務員さんに手伝っていただき修繕工事を始めました。

4日(水)の委員会活動では、飼育・栽培委員会の児童も参加し、亀を一旦避難させたうえで、水を排出し、岩や土を取り出しました。今後は時機を見て、防水塗料で固めていく予定です。



その作業中に、なんと亀の卵を発見しました。虫かごに取り出して、少し様子を見ようかと考えています。「孵化した子亀が、亀池にわんさか」というのも、亀井小学校ならではのですね。

しかし、調べてみますと、亀の卵は通常6～8月の暖かい時期に土中へ産み落とされ、有精卵なら約2ヶ月(50～65日)で孵化するそうです。また、気温も20℃～30℃に保たなければなりません。つまり、この冬の時期になって発見された卵は、上手く受精しなかったか、無精卵のどちらかではないでしょうか。ひょっとして、亀池の亀はメスばかりではないかと考えられます。「亀池を子亀でいっぱい」計画は、早くも頓挫してしまいました。

掲示委員会、今月の1枚

2月と言えば、“節分”ですね。愉快で、かわいらしい鬼たちがたくさんいます。豆をまいて福を寄せ、鬼を退治する“節分”。日本的伝統行事ですね。子どもたちは3日(火)に豆まきをし、恵方巻も食べたのでしょうか？

